

みんな

2006.2.20

VOL. 2

みんなで いっしょに ながよく

みんな、輝いています!!

入社して4年です。まだまだ分からないことがたくさんありますが将来は、建築士の資格も取りたいです。



リフォームアドバイザー

この仕事に就いた理由？
それは、人間が好きだから!!



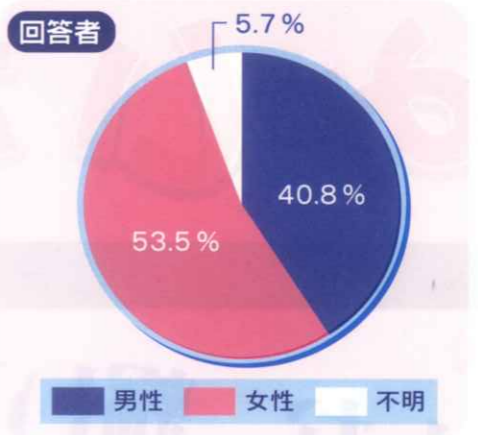
ケアワーカー





男女共同参画社会に関する

市民アンケート調査報告



女性に対する暴力について

あなたは、身近で実際に女性に対する暴力を見聞きしたことがありますか。



「夫や恋人からの暴力」と「職場におけるセクハラ」の割合が高く、それぞれ2割近い人が見聞きしています。

※セクハラ（セクシュアル・ハラスメント）…性的いやがらせのこと。

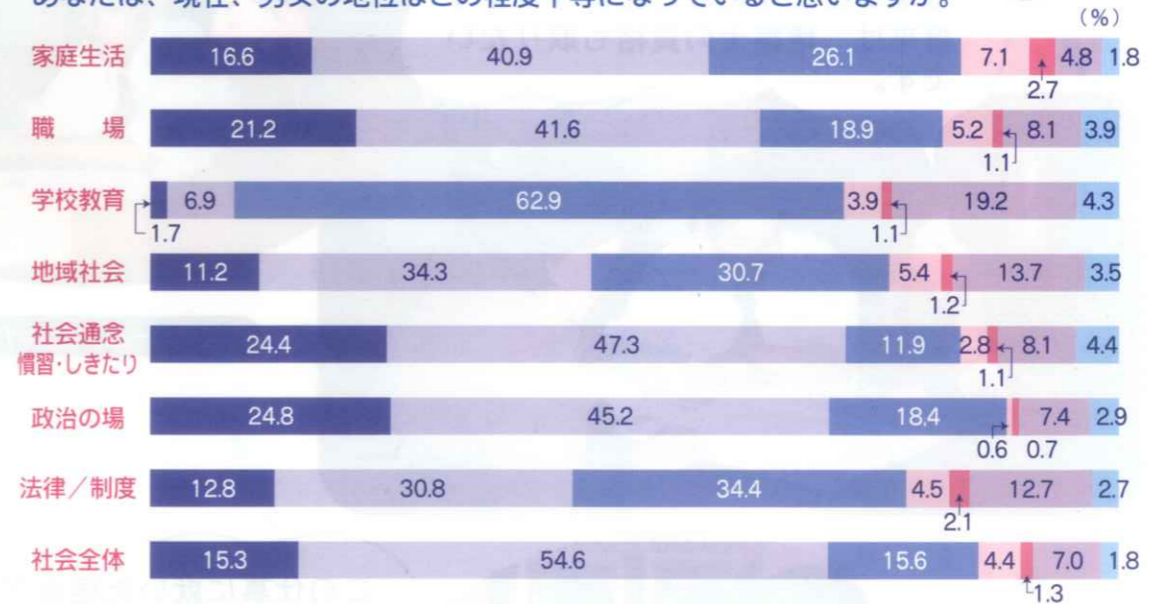
那須塩原市では、男女共同参画社会に関する現状と市民のみなさんの考えを把握するため、昨年10月、男女2,000人を対象にアンケート調査を行いました。890人の方から回答をいただき回収率は44.5%でした。

今回は、調査結果の中から、一部を紹介します。



男女平等意識について

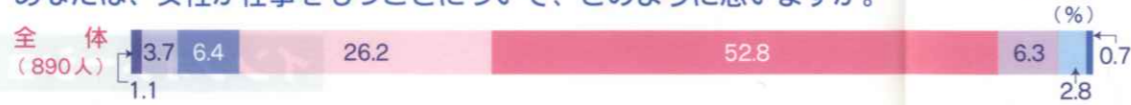
あなたは、現在、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。



「学校教育」の平等感が高く、「社会通念・慣習・しきたり」の平等感は低くなっています。全体的に男性の方が優遇されていると感じている人が多いようです。

女性と仕事について

あなたは、女性が仕事をもつことについて、どのように思いますか。

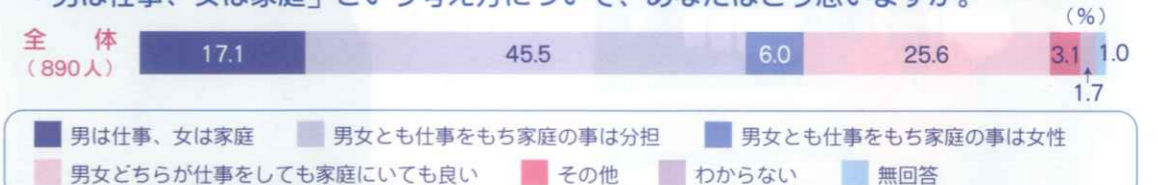


半数以上の人、「子どもが生まれたら仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事をもつほうがよい」と答えています。



男女の役割意識について

「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。



半数近い人が、「男女とも仕事をもち、家庭のことも責任を分担するのがよい」と答えています。

ご協力たいへんありがとうございました。様々なご意見・ご要望は、策定中の男女共同参画計画に生かせるよう努力します。なお、報告書の全内容は、各支所の生活課及び生活環境課の窓口、または市のホームページでご覧いただけます。



男女共同参画のまちづくりをめざしてフォーラムを開催しました。

「女と男のあい愛フォーラム2005 ～浴衣で参画～」



8月24日(水)にハロープラザにて「塩原温泉開湯1200年の歴史を学ぼう」と題した君島榮七氏による講演会が開かれました。

君島氏は、長年にわたり日光国立公園塩原地域全般の環境保全及び観光緑化ボランティア活動を実施しており、さらには自然や郷土史を学び、天然記念物の調査・保護育成に尽力されています。経験と知識の豊富な君島氏の講演により、知られざる塩原の奥深い歴史を学び、地域を知ることができました。

「男女共同参画フォーラム 女と男ともに輝くまちづくり」

11月26日(土)に黒磯文化会館にて男女共同参画フォーラムが開かれました。「人はまちをつくり、まちは人をつくる」と題して、丸山隆氏(栃木県教育研究所相談部長)が講演を行いました。男女の歴史から始まり、まちができて



いった背景、まちと人の関係などを、昔や今の女性のおかれている様々な立場を事例をもとに話され、会場のあちこちで目頭をおさえている人も見られました。

その後、アーサー大野ご夫妻と盲導犬によるコンサートが行われました。「人は一人では生きていけない。たくさんの人達と関わっていくことで幸が見えてくる」など話され、やさしく温かいコンサートでした。

一人でも多くの方が、男女共同参画を理解し、住みやすいまちづくりの担い手になって欲しいという思いが伝わってくるフォーラムでした。



インフォメーション

★男女共同参画広報紙「みいな」に提供できる情報をお持ちの方、コーナーで紹介してほしい人物をご存知の方は下記までご連絡ください。(紙面の都合上、掲載できない場合もあります。)

★男女共同参画、「みいな」へのご意見、ご感想もお待ちしています。

連絡先 那須塩原市 生活環境部 黒磯支所 生活課 ☎ 0287-62-7126
 西那須野支所 生活環境課 ☎ 0287-37-5104
 塩原支所 生活環境課 ☎ 0287-32-2939
 FAX 0287-63-2493 / mail k-seikatsu@city.nasushiobara.lg.jp



編集後記

男女共同参画の推進をめざし、昨年12月に「みいな」は誕生しました。みなさんからのたくさんのご意見と情報で、親しみのある身近な広報紙をめざしてまいります。

第2回目の今回は、昨年10月に行われた「男女共同参画市民アンケート」をとりあげました。男女平等意識や男女の役割意識、女性の仕事などについて、市民のみなさんが普段感じていることを実際に数値にして表してみると、いろいろと考えさせられる事も多いかと思えます。みなさんはいかがでしょうか。

男女共同参画社会の実現に向けて、一人ひとりが自覚してめざしていかれたらと思います。

どうぞたくさんのご意見をお寄せください。

編集員

荒井 恵子 伊吹 桂子
 香川 富美 手塚 仁美
 三宅優美子 室井 隆司

